

令和7年度千種区区政運営方針(あじさいプラン2025)取組結果について

1 評価基準 目標達成率(5段階による自己評価)

☆☆☆☆	100%以上
☆☆☆	80%以上100%未満
☆☆	50%以上80%未満
☆	50%未満
—	全て中止

2 評価結果

	No	取組事業	目標達成率					掲 載 ページ
			☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	—	
めざすまちの姿1	1	指定避難所開設・運営のための講習・訓練	○					3
	2	地区防災カルテを活用した地域防災活動の推進	○					4
	3	風水害・地震に備えた防災訓練	○					4
	4	消防団員確保の支援		○				5
	5	安否確認の取組みの推進	○					5
	6	家具等転倒防止対策の推進		○				6
	7	救命講習等	○					6
	8	ちくさ子ども防災キャンプ	○					7
	9	わかものを対象とした防災講座	○					7
	10	外国人を対象とした防災講座	○					8
	11	防犯活動の推進				○		8
	12	交通安全啓発活動の推進				○		9
	13	多文化共生に向けた取り組み	○					10
	14	地域コミュニティの活性化		○				10
		14事業	9	3	0	2	0	
めざすまちの姿2	15	新生児乳児訪問	○					11
	16	エンゼル訪問(赤ちゃん訪問)		○				12
	17	こあらっち子育て応援講座	○					12
	18	地域における子育て支援の充実	○					13
	19	ちくさまるごと読み聞かせ大作戦		○				13
	20	子育て家庭に対する連携した支援と児童虐待の防止	○					14
	21	子育てネットワーク事業の推進		○				15
	22	外国人家庭の子育て支援	○					16
	23	父親のための子育て支援	○					16
	24	子育て家庭の交流支援 親子クッキング教室		○				17
	25	乳幼児期の食事づくりの支援(離乳食レシピ集の作成)		○				17
	26	防犯・交通安全・非行防止啓発等による青少年健全育成	○					18
	27	高校生・大学生を対象とした薬物乱用防止啓発活動		○				18
		13事業	7	6	0	0	0	
めざすまちの姿3	28	地域包括ケアシステムの推進	○					19
	29	千種区版エンディングノート「私の想いをつないで帳」の普及・啓発	○					20
	30	高齢者の見守り活動	○					20
	31	高齢者の仲間づくり支援			○			21
	32	認知症サポーターの育成・活動支援	○					21
	33	認知症に対する正しい理解と知識の普及		○				22
	34	重層的支援体制整備事業の推進	○					22
	35	フレイル講演会	○					23
	36	大学生を対象とした性感染症予防キャンペーン	○					23
	37	壮年期を対象とした健康づくり事業	○					24
	38	自主グループ支援・育成	○					24
	39	啓発事業の実施とヘルプマークの普及			○			25
	40	障害のある人への情報発信と防災研修	○					25
	41	授産製品の販売促進		○				26
	42	発達障害家族のつどい(家族教室)	○					26
		15事業	11	2	2	0	0	

	No	取組事業	目標達成率					掲 載 ページ
			☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	—	
めざすまちの姿4	43	千種区情報リーフレット「みちくさマップ」を活用した魅力発信	○					27
	44	千種区民まつり		○				28
	45	まちかど発掘事業	○					28
	46	アジサイいっぱい運動		○				29
	47	千種区マスコットキャラクター「こあらっち」による区の魅力発信		○				29
	48	区公式ウェブサイト等の広報ツールを活用した魅力発信			○			30
	49	文化芸術活動の振興		○				31
	50	生涯スポーツの振興		○				31
		8事業	2	5	1	0	0	
めざすまちの姿5	51	クリーンキャンペーン	○					32
	52	資源とごみの分別等の周知		○				33
	53	ペットの飼主マナーの向上に関する啓発活動の実施		○				33
	54	空家の適切な管理の促進		○				34
	55	空地をきれいにする運動		○				35
	56	住居の不良堆積物への対策	○					36
	57	地域貢献メニューへの参加促進		○				36
		7事業	2	5	0	0	0	
信頼される区役所づくり	58	千種区区民会議	○					37
	59	区民アンケート		○				38
	60	千種区わかもの会議	○					38
	61	地域担当制による地域との連携	○					39
	62	わかもの向けの選挙啓発		○				40
	63	窓口環境の整備		○				41
	64	接遇の向上			○			42
	65	業務改善	○					43
		8事業	4	3	1	0	0	
計65事業			35	24	4	2	0	

地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち

施策1 地域防災力の向上を図ります

施策2 犯罪や交通事故のない安心・安全な地域づくりを進めます

	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和7年度	目標値 (令和10年度)
区将来ビジョン	地域における防災への取り組みが進んでいると思う区民の割合	72.8%	76.8%	87%
	家庭で家具の固定などの転倒防止対策を行っている区民の割合	74.7%	78.4%	100%
	安否確認を実施している自主防災組織の割合	—	53.4%	100%
	犯罪や交通事故のない、安心・安全なまちづくりが進んでいると思う区民の割合	74.9%	75.8%	78%
	区内における刑法犯の認知件数	1,070件 (令和5年)	1,196件 (令和7年)	1,000件
	区内における年間交通事故死者数	1人 (令和5年)	4人 (令和7年)	0人
	町内会・自治会の活動が大切だと思う区民の割合	84.6%	85.2%	87%



【事業シート】

取組名1	指定避難所開設・運営のための講習・訓練			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	災害の発生時に、地域住民が円滑に避難所を開設・運営できるようにします。			
取組内容	地域住民や防災関係機関と協力し、講習・訓練を実施します。 ・対象:災害対策委員、自主防災組織のリーダーおよび地域住民 ・単位:学区または自主防災組織 ・内容:避難所開設・運営に関すること			
令和7年度 目 標	避難所開設・運営に関する 講習・訓練の実施学区数	目標値	実績値	
		15 学区	15学区	
取組結果	15学区にて実施			

取組名2	地区防災カルテ等を活用した地域防災活動の推進			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	地域住民が、自主的・主体的に地域の防災について考え、それぞれの地域特性を踏まえた活動を行えるようにします。			
取組内容	地区防災カルテ等を活用した話し合いや、防災講習・訓練を実施し、日頃の防災・減災活動や災害発生時に中心的な役割を担うリーダーを育成します。 ・対象:災害対策委員および自主防災組織のリーダーを主とした地域住民 ・単位:学区または自主防災組織 ・内容:地域特性の把握と災害対策・災害時の役割分担・今後行うべき訓練などの話し合い 避難所の開設・避難所資機材の使用訓練など			
令和7年度 目 標	防災に関する話し合い、講習または訓練の実施学区数	実 績 値	目 標 値	
		15 学区	15 学区	
取組結果	15 学区にて実施			

取組名3	風水害・地震に備えた防災訓練			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	地域住民や防災関係機関と連携して大規模災害に備えます。			
取組内容	地域住民や防災関係機関と災害発生時の対応を確認し、相互の連携を強化します。 ・内容:総合水防訓練の実施 総合防災訓練の実施 医療救護所設置・運営訓練への参加・連携確認 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施			
令和7年度 目 標	各防災訓練の実施	実 績 値	目 標 値	
		実施 (各1回)	実施 (各1回)	
取組結果	訓練名		実施日	実施場所
	総合水防訓練		5/25(日)	宮根小
	総合防災訓練		9/7(日)	大和小
	医療救護所設置・運営訓練		10/11(土)	千種中
	災害VC設置・運営訓練		3/4(水)	モビリティゲート吹上

取組名4	消防団員確保の支援		継 続
担当所属	消防署	関係部所(署)	
目的	地域防災力の要である消防団員の充足率を上げ、地域防災力の向上を図ります。		
取組内容	・区民の集まる行事で消防団を紹介するとともに消防団員募集活動を実施 ・自主防災訓練会場において消防団員募集活動を実施 ・SNSを活用し消防団活動のPR等とともに消防団員募集広報を実施 ・女性消防団員の活躍を紹介することなどにより、女性消防団員数の増加を図る		
令和7年度 目 標	消防団員の充足率	実 績 値	目 標 値
		69.1% (実員数259名)	73.3% (実員数275名)
取組結果	「千種消防署ホームページ」や「YouTube 名古屋市消防団チャンネル」などで消防団員募集をQRコードを用いて広報するとともに、令和5年度に千種区消防団連合会で作成した「消防団員募集ブース」のセットを積極的に活用し、千種区民まつりや学区の夏祭りなどでブースを設置し消防団員募集活動を行った。 千種区消防団連合会 15 消防団の団員数は、259 名(男性:215 名、女性:44 名)である。(R8.4.1 現在)		

取組名5	安否確認の取組みの推進		継 続
担当所属	消防署	関係部所(署)	
目的	発災直後迅速に「安否確認」を行うことができるよう、方法の検討や実動訓練等の支援を進め、各自主防災組織が救出救護等の活動を円滑に実施できるようにします。		
取組内容	・自主防災組織単位において、「各戸啓発」リーフレットを活用し、訪問型啓発を実施 ・共助(特に安否確認訓練を中心とした自主防災訓練参加)の促進		
令和7年度 目 標	安否確認の取組みが行われている 自主防災組織の割合	実 績 値	目 標 値
		53.4%	50.0%
取組結果	自主防災組織324組織のうち安否確認の取り組みが行われたのは、令和8年3月31日時点173組織(53.4%)実施した。		

取組名6	家具等転倒防止対策の推進		継 続
担当所属	消防署	関係部所(署)	
目的	死傷・逃げ遅れの原因となる家具等の転倒を防止するための対策をすることで、大規模地震発生時の人的被害を軽減します。		
取組内容	・自主防災訓練をはじめとした各種消防・防災訓練において、家具転倒防止対策の啓発を実施 ・千種区家具転倒防止ボランティアを派遣(随時)		
令和7年度 目 標	家具等の転倒防止対策を行っている区民の割合	実 績 値	目 標 値
		78.4%	80%
取組結果	各戸啓発を通じ、家具転倒防止対策を啓発し、リーフレットを活用し家具ボランティア派遣の案内を中心に啓発を行った。 家具転倒防止ボランティア活動状況 受付件数 10件 うち、5件は施工済み、5件は日程調整中等		

取組名7	救命講習等		継 続
担当所属	消防署	関係部所(署)	
目的	より多くの住民に正しい応急手当の知識及び技術を身につけてもらい、救命率の向上を目指します。		
取組内容	・自主防災訓練の訓練項目として心肺蘇生法等を取り入れる ・消防署における定期救命講習の実施 ・事業所等への職員派遣による救命講習の実施		
令和7年度 目 標	救命講習受講者数	実 績 値	目 標 値
		3,553名	3,000名
取組結果	自主防災訓練でのAED取扱い訓練等 21回 1,839名 定期救命講習 3回 12名 事業所等への救命講習 74回(うち44回職員派遣) 1,702名 合計 98 回 3,553 名 (令和8年3月31日末時点)		

取組名8	ちくさ子ども防災キャンプ			区独自 継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	消防署	
目的	将来の防災の担い手となる児童の防災意識の向上や知識の習得を図ります。			
取組内容	区内在住の小学校4～6年生および保護者を主な対象として、実践的な内容を盛り込んだ宿泊型の訓練を実施します。 時期：10月中旬の土曜午後～日曜朝まで 一泊二日で実施予定 会場：小学校体育館等 内容：避難所宿泊体験、初期消火訓練、応急手当訓練、応急給水訓練、災害時のトイレ講習、被災地(陸前高田市)語り部講演など(予定)			
令和7年度 目 標	参加者満足度	実 績 値		目 標 値
		100%		100%
取組結果	時 期:10月18～19日 実施場所:猪子石中学校 参 加 者:21組45名 内 容:以下のとおり 避難所宿泊体験、初期消火訓練、起震車体験、手洗い指導、トイレ講習、応急給水訓練、被災地語り部講演、炊き出し訓練、クロスロードゲーム、宿泊スペース工作など			

取組名9	わかものを対象とした防災講座		継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	
目的	学生の防災意識の向上や知識の習得を図ります。		
取組内容	災害発生時に活躍が期待される学生を対象とした防災講座を実施します。 ・対象:区内の小中高校・大学・専門学校などの学生 ・内容:自分や家族を守る「自助」、学校や地域で助け合う「共助」の意識、災害時の避難行動、事前の備えなど		
令和7年度 目 標	学生向け防災講座の実施回数	実 績 値	目 標 値
		11 回	10 回以上
取組結果	実施期間:7 月～1 月 実施回数:11 回 内訳:小学生 4 回、中学生 2 回、高校生 4 回、大学生 1 回 講習内容:災害時の避難行動、事前の備えなど		

取組名10	外国人を対象とした防災講座		区独自 継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	(公財)名古屋国際センター
目的	外国人の防災意識の向上や知識の習得を図ります。		
取組内容	日本の文化・習慣が定着していない外国人向けに、国際交流関係機関やNPO、日本語学校などと協力し、やさしい日本語による防災訓練・講習を実施します。 ・内容:日本における災害の種類や避難行動、災害情報の入手方法、事前の備えなど		
令和7年度 目 標	外国人が参加する 防災訓練・防災講習の実施	実 績 値	目 標 値
		実 施	実 施
取組結果	実 施 日:1 月 22 日(木) 20分 実施場所:名古屋大学 参 加 者:名古屋大学留学生 8 名 実施内容:やさしい日本語により作成された資料を基に、ハザードマップ及び事前の備えについて説明 その他:日本語会話サロン運営のさくらの会による協力により実施		

取組名11	防犯活動の推進		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	警察署
目的	多発する犯罪に対して、効果的な被害防止に向けた啓発活動、広報及びパトロールに取り組み、区内における犯罪発生件数の減少を目指します。		
取組内容	・近年、被害が多発しかつ手口が巧妙化している特殊詐欺の被害防止を強化するため、被害者の多くの割合を占める高齢者に対し、警察等と連携して、重点的に啓発活動や講話を実施 ・いわゆる「闇バイト」を通じた特殊詐欺や住宅侵入盗等の犯罪への加担を防止するため、若年層や高校生・大学生などに対し、警察等と連携して、重点的に啓発活動を実施 ・自転車盗難被害の防止に向けて、警察等と連携して、利用者が多く集まる駅周辺等や高校・大学において、重点的に啓発活動を実施 ・犯罪の発生状況に応じ、効果的な啓発活動、広報及びパトロールを適宜実施		
令和7年度 目 標	刑法犯認知件数の減少	実 績 値	目 標 値
		1,196件	1,133件
取組結果	・特殊詐欺については、警察と連携して偶数月の年金支給日に商業施設及び銀行の ATM での被害防止キャンペーンを実施するほか、詐欺の加害者となり得る高校生・大学生に対して闇バイト防止の啓発活動を実施した。 ・自転車盗については、被害が多発している地域にて、ツーロックの日を始め警察と協働して盗難防止対策を実施するほか、自転車利用の機会が多い高校生・大学生に向けて自転車用ワイヤーロックと啓発チラシを配布した。 ・自動車盗については、ハンドルロックや駐車場所の施錠などを組み合わせた防犯対策の啓発に努めた。 ・住宅対象侵入盗については、盗難多発地域にて地域や警察と連携した啓発活動を行うとともに、青色回転灯装備車によるパトロール・広報を重点的に実施した。		

取組名12	交通安全啓発活動の推進			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	警察署	
目的	多発する交通事故に対して、効果的な啓発活動、広報及びパトロールを実施し、区内の交通事故の減少を目指します。			
取組内容	・歩行中の死傷事故が多発していることから、地域住民や警察、学校と協働して、死傷者の割合の高い高齢者に対して、重点的に啓発活動を行うほか、大型小売店舗等においてキャンペーンを展開 ・自転車利用者の交通事故が多発していることから、地域住民や警察、学校と協働して、利用者が多く集まる学校や駅周辺を中心に、高校生を始めとする自転車利用者に対して、重点的に交通ルール順守の徹底、反射材やヘルメット着用を促進 ・交通事故の発生状況に応じ、効果的な啓発活動、広報及びパトロールを適宜実施			
令和7年度 目 標	交通事故死傷者数の減少	実 績 値	目 標 値	
		639人 (前年比1%増)	620人 (前年比2%減)	
取組結果	○統計数値（括弧は前年比増減）			
	区分		R7	
	交通事故死者数		4(▲ 2)	
	人身事故発生件数		534(▲17)	
	【啓発活動】（単位:回数）			
	対象者	R7	備考	
	園児・児童	56	交通指導員による交通安全教室	
	高齢者	29	大型店舗等での啓発活動	
	自転車	40	自転車安全利用キャンペーン ※うち 4 回は、協定(※)に基づくもの	
	※高校・警察・区役所の交通安全推進に関する連携協定に基づき、高校の生徒と協力し、同校生徒に向けた自転車安全利用啓発活動を実施			
	【広 報】			
	種別		主な内容	
	広報媒体		区ウェブサイト・行政情報モニター・エックス	
放送・ポスター掲示個所数 (市民運動期間中)		29 施設(※区内大規模小売店舗、公所)		
【パトロール】				
・交通事故死ゼロの日の早朝、年4回の県内一斉交通大監視の日に実施				

取組名13	多文化共生に向けた取り組み			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)		
目的	地域社会における多様な文化や慣習の理解と尊重を促進し、国籍や民族などに関わらず、地域の構成員として平等に参加できる社会の実現を目指します。			
取組内容	日本人住民と外国人住民の交流会を実施			
令和7年度 目 標	交流会の参加者満足度	実 績 値	目 標 値	
		100%	100%	
取組結果	・アジア・アジアパラ競技大会フレンドシップ事業として、千種区多文化交流会「歌って踊って外国の文化にふれあおう！」を実施 ・令和8年3月1日(日)13時30分～15時00分 ・参加人数:14人 ・会場:本山生協会館 イベント内容:ベトナムの歌、ミャンマーの踊りを体験した。			

取組名14	地域コミュニティの活性化		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	町内会・自治会への加入促進を図るとともに、住民の自主的なコミュニティづくりを支援することで、安心・安全で快適なまちづくりを推進します。		
取組内容	・町内会・自治会の活動を伝えるリーフレット等や広報なごや、区ウェブサイト、SNS等の広報媒体を活用し、町内会・自治会の必要性や地域での取り組みを発信 ・住宅関連事業者に対して、新規入居者向けの町内会・自治会の加入促進に関する協力を依頼 ・地域コミュニティの活性化を目指し、これから地域活動を担う世代の方たちに対して、地域活動の運営を支援する交流会や講座を開催		
令和7年度 目 標	交流会や講座の参加者満足度	実 績 値	目 標 値
		92%	100%
取組結果	令和7年度は、地域活動の担い手不足への対応として、学区・学生・企業(中小企業家同友会等)による三者連携をテーマとした交流・ワークショップを実施した。参加者アンケート(N=37)において、参加者満足度は 92%となり、目標値には未達であったものの、地域・学生・企業が連携する必要性について一定の認識共有が図られた。また、各学区において「まつり」「防災」「情報発信」等の具体的な取組テーマが抽出され、次年度以降の取組につながる基盤が形成された。一方で、ワークの進行における難度や学区間の取組状況の差といった課題も確認された。		

めざすまちの姿2

安心して子育てができ、子どもや若者が健やかに成長できるまち

施策3 安心して子育てができるよう子育て家庭を応援します

施策4 子どもや若者が健やかに成長できる環境づくりを進めます

	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和7年度	目標値 (令和10年度)
区将来ビジョン	子ども（主に乳幼児）を安心して育てることができるまちだと思う区民の割合	82.2%	85.3%	87%
	新生児乳児訪問実施率	95.8%	100%	100%
	子育て支援事業における参加者の満足度	97.5%	98.5%	100%
	子ども（主に小学生以上）や若者が健やかに成長できるような取り組みが進んでいると思う区民の割合	76.4%	77.5%	80%
	防犯・交通安全・非行防止に係る啓発を受けた子どもや若者の人数	12,406人	16,044人	14,300人



【事業シート】

取組名15	新生児乳児訪問			継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)		
目的	新生児乳児訪問を実施し、子育て世代が安心・安全に過ごせるよう支援します。			
取組内容	・新生児乳児がいる家庭への訪問 ・各家庭に応じた育児支援			
令和7年度 目 標	訪問未実施者数	実 績 値	目 標 値	
		0 人	0 人	
取組結果	・出生報告のはがき受理数:1,024人(母数) ○里帰り先での訪問(市外へ依頼)又は千種区での訪問調整中:65人。 ○未熟児等による長期入院治療しているケース:7人。母子管理にて全て把握できており、継続支援できている。 ○転出等の辞退者:25人 ●転入・出生報告未提出者・区外からの依頼があった者など:22人 ⇒新生児・乳児訪問対象者:949人:新生児・乳児家庭訪問実施数:949人			

取組名16	エンゼル訪問(赤ちゃん訪問)			全市展開 拡 充
担当所属	民生子ども課	関係部所(署)		
目的	子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図る。			
取組内容	・主任児童委員などが赤ちゃんのいる家庭を訪問し、情報提供や相談を実施 ＜対象＞・生後3か月から6か月の第1子及び新たに第2子以降の希望者 ・市外転入した生後6か月から1歳未満の第1子及び新たに第2子以降の希望者			
令和7年度 目 標	エンゼル訪問の訪問率	実 績 値	目 標 値	
		84.8%	91.8%以上	
取組結果	・訪問 主任児童委員を中心に対象世帯を訪問 R7年4月(R6.11依頼分)～R8年3月末(R7.10依頼分) 対象(転入)533(16)件中、452(16)件訪問/ 84.8% ※未訪問81(0)件中20(0)件は、保護者希望による資料ポスティング等に対応 ・未訪問家庭の状況確認 未訪問81(0)件については、保健センターにおける3か月健診等の受診状況や転居を確認 ・主任児童委員連絡会 年2回開催 配布物の外国語翻訳の希望調査をし、翻訳を実施(サロンのチラシ)			

取組名17	こあらっち子育て応援講座			区独自 継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)		
目的	子育て講座を通じて子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図る。			
取組内容	子育て講座の開催 ・子育てのコツを学ぶ講座 ・保護者同士のつながりを深める連続講座			
令和7年度 目 標	講座が子育てに役立ったと思う 参加者の割合	実 績 値	目 標 値	
		100%	100%	
取組結果	<イライラしない子育て講座> 参加人数:会場参加:9名、オンライン参加20名 計29名 託児:5名 開催日程:10月30日 講師:青少年養育支援センター陽気会 杉江健二氏 役に立ったと思う参加者の割合:100%(アンケート回収数12人) <たたかないとまらない子育て連続講座> 参加人数:11名(申込人数:15名) 託児:8名 開催日程:9月2・9・16・30日、10月7・14日 講師:Office MOTOHIRO代表 競朗子氏 役に立ったと思う参加者の割合:100%(アンケート回収数8人)			

取組名18	地域における子育て支援の充実		区独自 拡 充
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	
目的	乳幼児とその保護者が参加する地域の身近な場が充実し、子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図る。		
取組内容	・主に乳幼児のいる保護者同士の交流を目的とした子育てサロンを開催する地域団体への事業補助や、保育案内人による出張保育園案内を実施 ・地域の身近な地域子育て支援センター(3か所)・子育て応援拠点(1か所)・地域子育て支援拠点(3か所)・学区主催の子育てサロン(15学区)や保健センターで、子育て家庭が気軽に育児相談ができるよう、保健センターの保健医療職が支援。		
令和7年度 目 標	①補助金交付・保育案内人・子育てネットワークちくさによる支援のうちいずれかを実施した学区数 ②保健医療職の支援箇所数	実 績 値	目 標 値
		①13学区 ②19か所	①13学区 ②19か所
取組結果	【民生子ども課】 ・サロンは全15学区で実施 ・子育てネットワークちくさとの連携 ネットワークちくさによる支援 4学区実施(高見、春岡、宮根、千代田橋) ・補助制度の運用 補助金交付 7団体(大和、高見、春岡、見付、星ヶ丘、自由ヶ丘、自由ヶ丘女性会) ・8学区(内山、上野、高見、田代、東山、自由ヶ丘、富士見台、宮根)に保育案内人が出張し保育園案内を実施 ・主任児童委員連絡会を開催し情報共有(8/20、2/21開催)		
	【保健予防課】 ・各学区の子育てサロン(15 学区)1 回/月程度出席 ・地域子育て支援拠点「すぎばーく」「はなのこ広場」 ・子育て応援拠点「もんもの木」 ・地域子育て支援センター「すくすく」 →計19か所 (その他) ・保健センターで実施している「なんでも育児相談」1 回/月実施。20～30組参加		

取組名19	ちくさまるごと読み聞かせ大作戦			区独自 新 規
担当所属	民生子ども課	関係部所(署)	保健センター、千種図書館、 千種区保育園連絡会	
目的	転入・転出が多い地域性。親子の充実した時間を過ごす一助となり子育て家庭を支えると共に、千種区への愛着を持ってもらいます。また、わかものの子育てへの関心を高めます。			
取組内容	・図書館司書・保育士等による名所に関連した絵本を含むおすすめ絵本を掲載した「ちくさおすすめえほん集」を作成し、配布 ・子育て中の保護者に加え、高校生・大学生を対象に講義と実践からなる体験講座を開催 ・「えほん集」に掲載した絵本を題材とした観劇会を開催し、子どもの心に感動を刻む			
令和7年度 目 標	「ちくさおすすめえほん集」の配布数	実 績 値		目 標 値
		1,600部		2,000 部
取組結果	・「ちくさおすすめえほん集」の発行・配布(配布数1600部) ・読み聞かせ体験講座の開催 ・パパ対象(8月14日)、保護者対象(10月22日)・高校生・大学生対象(12月26日) ・観劇会の開催(2月21日 千種文化小劇場「ドングリ山のやまんばあさん」)			

取組名20	子育て家庭に対する連携した支援と児童虐待の防止			区独自 継 続
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	子ども応援委員会・児童相談所	
目的	児童と家庭を取り巻く様々な課題の解決を図り、児童への虐待を防止する。			
取組内容	・関係機関と連携し妊娠期から切れ目のない支援を行い、児童虐待を防止する ・子育て家庭の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、多機関協働・連携を図り重層的な支援を進める ・5月・11月の児童虐待防止推進月間には、「オレンジリボンキャンペーン」を学生と連携して実施するほか、保護者を支援する講座を開催 ・児童虐待防止推進の標語を作成し、標語を活用した啓発の推進			
令和7年度 目 標	①虐待死	実 績 値	目 標 値	
	②児童虐待防止推進月間の啓発活動の実施回数	①0人 ②12回	①0人 ②11回以上	
取組結果	・会議の開催 なごやこどもサポート千種区代表者会議 8月20日に開催(年1回) 実務者会議 月1回開催(12回開催/民子・児相・保健センター・警察・応援委員会) サポートチーム会議 7回開催 ・広報・啓発活動 児童虐待防止推進月間(5、11月)に、オレンジリボンキャンペーンを実施 内容:全職員のオレンジリボン着用、懸垂幕・のぼりの設置、こあらっちの啓発用たすきの着用、椋山女学園大学学生と連携し区役所庁内及びメガロス千種にPRコーナーを設置 子育て広場、庁舎玄関、メガロス千種等で啓発活動(10回)を実施 東山動植物園正門入口で啓発活動を実施(5月23日、11月21日) 標語を募集し決定、啓発活動で利用 内容:椋山女学園大学及び愛知淑徳大学学生から募集(応募139点)、作品審査(9月24日最終審査会)、最優秀2点・優秀2点等を決定、広報なごや等で啓発活動に利用 ・保護者を対象とした講習会を開催 こあらっち子育て応援講座「たたかないとまらない子育て」を開催(9月2日～10月14日 全6回連続講座 11名参加) こあらっち子育て応援講座「イライラしない子育て」を開催(10月30日 29名参加) ・教育と福祉の連携 校長会でのこども家庭センター説明、協力依頼(4月23日) 子ども応援委員会との定期的な情報共有(実務者会議 1回/月、CA会議 1回/月) 学校でのケース協議(14校)、学校との連携・情報共有 兼務児童福祉司の校内チーム会議への参加(2回)			

取組名21	子育てネットワーク事業の推進			継 続
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	子育てネットワークちくさ、千種区保育園連絡会	
目的	乳幼児とその保護者が参加する地域とのつながりの場づくりを支援し、子育て家庭の孤立感・不安感の軽減を図る。			
取組内容	・関係機関で構成する子育てネットワークちくさと連携し、地域における親子の交流の場である「ミニ子育て広場」を開催するとともに、「子育て支援情報がいど」を発行 ・「ミニ子育て広場」において保育案内人の出張保育園案内を実施し、保育園入所等に関する相談ができる機会を設ける ・「ミニ子育て広場」において保健師等による育児相談を実施 ・千種区保育園連絡会と連携し、「子育て広場in千種」を開催			
令和7年度 目 標	子育て広場への参加者の満足度	実 績 値		目 標 値
		98.5%		100%
取組結果	・交流の場の開催 子育て広場in千種 11月8日(土)に開催 参加人数計:279人(大人:160人、子ども:119人) 満足度:97.3% ミニ子育て広場 7回開催 参加人数計: 639人(大人:317人、子ども:322人)満足度:98.7% 全体で98.5% ・子育て支援機関の連携 子育て支援ネットワーク連絡会を開催(5月22日/社協、エリア支援保育所、生涯学習センター、子育て応援拠点、地域子育て支援拠点、主任児童委員、幼稚園、保育園、保健センター、区役所等) ・「子育て支援情報がいど」の作成:6,000部発行 ・保育案内人の出張保育園案内 12回実施 (子育てサロン8回、ミニ子育て広場3回、地域子育て支援拠点1回)			

取組名22	外国人家庭の子育て支援			区独自 拡 充
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)		
目的	外国人の子育て家庭に情報を分かりやすく伝え、孤立感・不安感の軽減を図る。 外国人妊婦の健診未受診をなくし、安心・安全な出産・育児を目指す。			
取組内容	・やさしい日本語と4ヶ国語による「子育て応援ガイド」の配布と外国語による子育てサロンの チラシの作成 ・TV通訳機能が付いた「タブレット端末」を活用した家庭訪問等の実施 ・妊婦面接時、出生報告受理時に「子育てチャート①②」の外国語版(ベトナム語に加え、新たに 英語・中国語・ネパール語)を用いて説明し、外国人の妊産婦に配付			
令和7年度 目 標	①「タブレット端末」の活用満足度	実 績 値		目 標 値
	②外国語版の「子育てチャート」での面接で安心したと答えた妊婦の割合	①100% ②95.7%		①100% ②95%
取組結果	【民生子ども課】 ・「子育て応援ガイド」を窓口、エンゼル訪問等で配布 ・TV通訳機能が付いたタブレット端末の活用 活用(持ち出し)実績:3件(うち、貸出したが使わなかった件数1件)／満足度100% ・サロンチラシの翻訳の希望調査をし翻訳を実施(4学区:内山、大和、春岡、星ヶ丘)、他サポートプランの翻訳1件 ・「R7年度版子育て支援情報がいど」の翻訳(英語) 【保健予防課】 ・全妊婦面接959件内、外国語版発行数80件(8.3%) (英語38件、ベトナム語25件、ネパール語9件、中国語6件、ハングル語1件、タガログ語1件) ・外国語版の「子育てチャート」での面接で安心したと答えた妊産婦の割合 「安心した」と答えた妊婦:95.7%。 「妊婦健診について理解した」と答えた妊婦:97.8%。			

取組名23	父親のための子育て支援			区独自 拡 充
担当所属	保健予防課	関係部所(署)		
目的	父親に育児手技など正しい情報を伝え、子育て家庭の育児力の向上を目指す。			
取組内容	・両親学級の充実(父親向けの健康教育)(月1回) ・新たに父子のための子育て教室の実施(年2回)			
令和7年度 目 標	父親の役割が理解できたと答えた人の割合	実 績 値	目 標 値	
		100%	90%	
取組結果	【父子のための子育て教室】 R7.8.12(火)てくてくコース(歩き始め～2歳未満):4組17名 R7.8.15(金)ハイハイコース(概ね6か月～よちよち歩き):6組15名 「父親の役割が理解できた」100% 【両親学級】 R7.4～R8.3月:92組中71組(77.2%)【両親学級実施報告書より】 「父親の役割が理解できた」100%【両親学級1日目の参加者53名の回答】			

取組名24	子育て家庭の交流支援 親子クッキング教室		区独自 継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	発育期にある子どもたちに対し、栄養バランスのとれた「食」に関心を持ってもらうとともに、食を通じてコミュニケーションの機会を増やし、健康なからだところをつくります。		
取組内容	・5歳から小学6年生を対象に、梶山女学園大学の学生と連携して親子クッキング教室を開催		
令和7年度 目 標	参加者の満足度	実 績 値	目 標 値
		97%	100%
取組結果	○実施日時・参加人数 令和7年8月20日・12組(保護者13名、子ども17名) 令和7年8月21日・11組(保護者11名、子ども15名) 令和7年8月26日・11組(保護者12名、子ども15名) ○実施場所 梶山女学園大学 管理栄養学科 調理実習室 ○参加者の満足度 97%		

取組名25	乳幼児期の食事づくりの支援(離乳食レシピ集の作成)		区独自 継 続
担当所属	民生子ども課・保健予防課	関係部所(署)	
目的	学生等と連携し離乳食レシピを提供することで、乳幼児期の食事づくりの不安等の軽減を図る。		
取組内容	・「離乳食レシピ集」を学生と連携して作成し配布 ・離乳食レシピを区公式ウェブサイトやSNS等を活用して幅広く発信するとともに、離乳食レシピ動画を「ちくさKeyちゃんねる」にて配信		
令和7年度 目 標	離乳食レシピ集 vol.5の配布数	実 績 値	目 標 値
		1,650部	1,800 部
取組結果	・レシピ集Vol.6の作成・発行(発行部数:2,000部) ・レシピ集の配布 3か月児健診、児童館、エリア支援保育所、ミニ子育て広場等にて配布 ・動画及びレシピを各SNSに順次掲載 ・Logoフォームを活用したアンケートの継続		

取組名26	防犯・交通安全・非行防止啓発等による青少年健全育成			区独自 継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	警察署	
目的	子どもや若者に対して、地域・学校・行政が一体となって見守り、防犯・交通安全・非行防止の意識醸成を図ります。			
取組内容	・幼児から小・中学校、高校生や大学生に対して、交通指導員をはじめ警察等と協働で年代や世代に応じた防犯・交通安全啓発を実施 ・「こども安心ドリル」の「防犯・交通安全編」を小学1・2年生に、「インターネット・SNSトラブル防止編」を小学6年生に配付。また、青少年健全育成啓発用ポスター図画の募集、啓発キャンペーン、青少年育成区民大会を実施するなど非行防止や青少年健全育成の活動に取り組む。			
令和7年度 目 標	防犯・交通安全・非行防止に係る啓発を受けた子どもや若者の人数	実 績 値	目 標 値	
		16,044 人	15,600 人	
取組結果	・交通安全啓発者数 9,690 人 ・防犯啓発者数 1,760 人 ・非行防止に係る青少年育成啓発者数 4,549 人			

取組名27	高校生・大学生を対象とした薬物乱用防止啓発活動		区独自 継 続
担当所属	環境薬務課	関係部所(署)	
目的	区内の高校・大学において学校と協力して薬物乱用防止啓発活動に取り組むことで、生徒・学生の薬物乱用の危険性についての正しい知識を深めます。		
取組内容	対象:区内の高校あるいは大学のうち1校 時期:令和7年度内 内容:学校側に啓発グッズの企画・作製から作製したグッズを用いた啓発活動(文化祭、ホームルームなど)の実施までを主体的に関わってもらう。		
令和7年度 目 標	取組に参加した生徒・学生の 理解度の向上	実 績 値	目 標 値
		86%	100%
取組結果	・保健センターから生徒会への啓発の実施 ・生徒会が啓発グッズと啓発方法を企画 ・生徒会から議長(クラス委員)に薬乱防止の説明 ・3/4 議長(クラス委員)からクラスの生徒に薬乱の周知、啓発グッズの配布 ・3/10、11 生徒会が朝の校門前で薬乱防止を呼びかけ。		

誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち

施策5 高齢者が地域で安心して暮らせるように支援します

施策6 生涯にわたって心身ともに健康に暮らせるように支援します

施策7 障害に対する理解を深め、障害のある人の自立と社会参加を支援します

	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和7年度	目標値 (令和10年度)
区将来ビジョン	生きがいや楽しみを持って生活している高齢者の割合	86.8%	90.1%	92%
	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	10,522人	12,148人	14,000人
	健康づくり事業への参加者数	621人	2,082人	1,200人
	障害のある人が自立して、安心して暮らせるまちだと思ふ区民の割合	65.1%	72.2%	75%
	障害に対する啓発事業の参加者数	320人	290人	370人



【事業シート】

取組名28	地域包括ケアシステムの推進			継 続
担当所属	福祉課、保健予防課	関係部所(署)	いきいき支援センター	
目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすことができるようにします。			
取組内容	高齢になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、「医療・介護・認知症施策・介護予防・生活支援・住まい」の各サービスを一体的に提供することで、地域で支え合う仕組みづくり(地域包括ケアシステム)を進めます。			
令和7年度 目 標	地域包括ケア推進会議の開催	実 績 値	目 標 値	
		2 回	2 回	
取組結果	(1) 地域包括ケア推進会議の開催 第1回 6月26日 第2回 2月26日 (2) 認知症専門部会の開催 第1回 6月5日 第2回 2月5日			

取組名29	千種区版エンディングノート「私の想いをつないで帳」の普及・啓発		区独自 継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	いきいき支援センター
目的	高齢者がこれからの時間の使い方や人生の最終段階の迎え方などを家族や身近な方と考え自分らしく暮らしていけるようにします。		
取組内容	・地域包括ケア講座の実施 ・「私の想いをつないで帳」出張講座の実施 ・チラシ配付やポスター掲示などの「私の想いをつないで帳」普及・啓発活動の実施		
令和7年度 目 標	「私の想いをつないで帳」の配付部数	実 績 値	目 標 値
		926部	800部
取組結果	「私の想いをつないで帳」の配付部数:926部配付 地域包括ケア講座の実施回数:1回(令和7年10月23日開催) 「私の想いをつないで帳」出張講座の実施回数:5回		

取組名30	高齢者の見守り活動		継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	いきいき支援センター
目的	高齢者が孤立しない生活を送れるようにします。		
取組内容	・高齢者福祉相談員による訪問 ・いきいき支援センターによる見守り支援事業への協力 ・高齢者見守りネットワーク連絡協議会開催による関係機関同士の情報共有、連携強化 ・敬老手帳の緊急連絡先への記入を周知		
令和7年度 目 標	高齢者見守りネットワーク連絡協議会の開催	実 績 値	目 標 値
		実 施	実 施
取組結果	・高齢者福祉相談員による訪問を実施した。 ・千種区高齢者見守りネットワーク連絡協議会を開催し、関係機関・事業者等の連携強化を図った。 ・高齢者の安否確認について、本庁所管課が定めたチェックリストに従った対応を行った。(安否確認実施件数 16件)		

取組名31	高齢者の仲間づくり支援		継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	
目的	地域でいきいきと活動する高齢者の増加、地域における高齢者の自主的な活動を増やします。		
取組内容	・「高齢者仲間づくりコーナー」での情報発信 ・広報なごやで老人クラブの周知 ・老人クラブの各種行事(スポーツ大会、作品展、演芸大会)の活動支援 ・高齢者が集まるサロンや給食会等において仲間づくりに関する情報提供		
令和7年度 目 標	高齢者サロンでの仲間づくりに関する 情報提供の実施回数	実 績 値	目 標 値
		3 回	4 回
取組結果	5/9 ペタンク大会(メタセコイア広場 48名) 5/30 区老連総会・区長表彰(千種区文化小劇場 61名) 6/13 グラウンドゴルフ大会(メタセコイア広場 88名) 7/22 カローリング・クロリティ大会(千種スポーツセンター 105名) 10/16～20 趣味の作品展(来場者 655人) 11/19 グラウンドゴルフ大会(メタセコイア広場 88名) 11/28 親睦のつどい(湯の山温泉 148名) 12/10 ボッチャ大会(千種スポーツセンター 96名) 1/20 文化健康講演会(千種文化小劇場 93名) 2/17 演芸大会(千種文化小劇場 185名) 高齢者向けパンフレット「千種区いきいきガイド」に老人クラブ加入案内を掲載 PR 記事を広報なごや 2 月号千種区版に掲載		

取組名32	認知症サポーターの育成・活動支援			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	いきいき支援センター	
目的	認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを増やします。			
取組内容	・サポーター養成講座の実施 ・認知症予防体操インストラクターによる体操実演 ・認知症カフェの運営支援			
令和7年度 目 標	サポーター養成講座受講者数(累計)	実 績 値	目 標 値	
		12,148人	11,900人	
取組結果	サポーター養成講座受講者数:629人 ちくさ区認知症予防体操インストラクターによる体操実演:34回			

取組名33	認知症に対する正しい理解と知識の普及			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	保健予防課	
目的	認知症の人と家族が安心して暮らせるまちをつくれます。			
取組内容	・市民講座の実施 ・市民シンポジウムの実施 ・認知症教室の実施 ・区民まつりでの啓発活動 ・若い世代を対象とした認知症普及啓発イベントの実施			
令和7年度 目 標	市民講座、市民シンポジウム参加者	実 績 値	目 標 値	
		596人	600人	
取組結果	市民講座受講者数:426人 専門職研修会受講者数:173人 市民シンポジウム受講者数:170人 認知症教室:1小学校で実施 区民まつりでの啓発活動:参加者841人 「今、知ろう 認知症のこと ～知ることがやさしさになる～」参加者数:176人			

取組名34	重層的支援体制整備事業の推進			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	地域力推進課、民生子ども課、保健予防課等	
目的	介護、障害、子ども、生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような「地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な相談支援体制の推進により、支援を必要とする人を誰一人取り残さない地域共生社会の実現を図る。			
取組内容	区連携会議の開催に向けて、関係機関と具体的調整を図ります。 また、区における複合的かつ複雑化した問題を抱える家庭を支援する体制づくりのため、包括的相談支援チームと密な連携体制を形成します。			
令和7年度 目 標	重層的支援体制整備事業 区連携会議の開催	実 績 値	目 標 値	
		2 回	2 回	
取組結果	・各種会議の開催結果			
	会議種別		開催日時	
	個別ケース検討会議		7/10、3/17 2回開催	
	支援会議		6/17 左記含め17回開催	
	重層的支援会議		8/25、11/20、3/6	
	区連携会議		9/30、1/20	

取組名35	フレイル対策		拡 充
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	要介護状態になることの予防や、生きがい・役割をもった地域生活の実現を目指すことが重要であることから、地域で生活する高齢者とその支援者に対し、介護予防の普及啓発を行います。		
取組内容	・フレイル講演会(つるかめセミナー)の開催 ・運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上をテーマとした教室の開催 ・新たに低栄養・口腔機能低下などフレイルリスクのある方に対する、個別指導や事業の案内		
令和7年度 目 標	参加者数	実 績 値	目 標 値
		943 人	700 人
取組結果	・開催数:15 回 ・参加者数:943 人 4月 9日(水) 口腔機能向上:16人、 22日(火) 運動器機能向上:29人 5月 15日(木) 講演会:57人 6月 20日(金) 栄養改善:34人 7月 15日(火) 講演会:82人 8月 22日(金) 口腔機能向上:25人 9月 24日(水) 講演会:125 人 10月 10日(金) 運動器機能向上:44人、 22日(水) 栄養改善:33人 11月 14日(金) 講演会:115人 12月 2日(火) 口腔機能向上:36人、 16日(火) 運動器機能向上:45人 1月 21日(水) 講演会:104人 2月 20日(金) 栄養改善:38人 3月 10日(火) 講演会:160 人		

取組名36	大学生を対象とした性感染症予防キャンペーン		区独自 継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	20代を中心に増加している性感染症に関して、若年層に対しての啓発キャンペーンを行い、性感染症予防に対する意識を向上させます。		
取組内容	・椋山女学園大学の学生と協働して作製した予防啓発資材を、学園祭などの機会を捉えて大学内で配布 ・予防啓発資材には、千種区で公開している啓発用ウェブページ(性感染症予防に関するクイズ等を掲載)に誘導する二次元バーコードを印字		
令和7年度 目 標	性感染症予防に関するクイズの回答率	実 績 値	目 標 値
		100%	40%
取組結果	・椋山女学園大学の学生がデザインした啓発資材(コンドーム)150個作製 ・性感染症予防の啓発用クイズのウェブページを作成し、啓発資材に当該ページにアクセスできる二次元バーコードを印字 ・令和7年10月18日(土) 椋山女学園大学学園祭において、啓発ブースを設置し来場者に説明と啓発資材の配布を実施(来場者数140人、資材配布数140個) ・啓発クイズへの回答率を集計(啓発ブースでの回答)		

取組名37	壮年期を対象とした健康づくり事業		区独自 拡 充
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	壮年期に健康対策をしっかりと行うことで、生活習慣病(糖尿病や高血圧などが原因で心筋梗塞や脳血管疾患を引き起こすなど)の予防や進行の遅延、心身の健康維持が可能となる。 壮年期は青年期から老年期に移行する過渡期であり、生活習慣の確立・持続させるための適切な時期であるため、正しい知識の普及・啓発を行い、食生活や運動などの生活習慣の改善を図り、その予防に努める。		
取組内容	・乳児と参加できるロコモティブシンドローム予防教室の開催 ・新たに壮年期を対象としたロコモティブシンドローム予防教室を開催 ・新たに幼児と参加できるロコモティブシンドローム予防教室を開催		
令和7年度 目 標	生活習慣を改善しようと答えた人の割合	実 績 値	目 標 値
		100%	90%
取組結果	・実開催数:11回(延15回) ・生活習慣を改善しようと答えた人:全員 ・実参加者数:141人 4月14日・5月12日 産後ママ:5人、生活習慣を改善しようと答えた人5人 5月2日 大人:13人、生活習慣を改善しようと答えた人13人 6月3日 親子:4人、生活習慣を改善しようと答えた人4人 6月6日・7月4日 産後ママ:8人、生活習慣を改善しようと答えた人8人 8月8日 大人:18人、生活習慣を改善しようと答えた人18人 10月20日・11月10日 産後ママ:17人、生活習慣を改善しようと答えた人17人 11月7日 大人:23人、生活習慣を改善しようと答えた人23人 12月1日 親子:9人、生活習慣を改善しようと答えた人9人 12月5日・1月9日 産後ママ:8人、生活習慣を改善しようと答えた人8人 12月19日 バランスボール:23人、生活習慣を改善しようと答えた人23人 2月27日 大人:13人、生活習慣を改善しようと答えた人13人		

取組名38	自主グループ支援・育成		区独自 継 続
担当所属	保健予防課	関係部所(署)	
目的	超高齢化社会となり、健康寿命の延伸が急務である。 地域住民の集いの場を支援・育成し、介護予防機能を強化させ、地域で生活する高齢者が、要介護状態等になることの予防や、その軽減・防止を図る。		
取組内容	運動器機能向上をテーマとした自主グループ育成教室を開催 育成した自主グループの活動状況確認や活動支援		
令和7年度 目 標	通いの場にて運動を継続することが効果的であることを理解したと答えた人の割合	実 績 値	目 標 値
		100%	90%
取組結果	・開催:2コース:5～6月(全4回)、9～10月(全4回) ・参加者数:実24人(延80人) ・通いの場にて運動を継続することが効果的であることを理解したと答えた人:全員		

取組名39	啓発事業の実施とヘルプマークの普及			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	障害者基幹相談支援センター	
目的	障害や障害のある人への理解を深め、障害を理由とする差別を解消します。外見からわからなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲に配慮を必要としていることを知らせるヘルプマークを普及させます			
取組内容	・障がい福祉フェスタを障害者自立支援連絡協議会と開催 ・福祉課でのヘルプマークの配付や広報なごや等での周知			
令和7年度 目 標	啓発事業の参加者数	実 績 値	目 標 値	
		290人	370人以上	
取組結果	・令和7年11月8日(日) 千種文化小劇場「障がい福祉フェスタ」開催 290人参加 ・育成会ヘルプマーク・ヘルプカード講座:36人参加(8月24日) ・ヘルプマーク配付数:965個(3月末時点)			

取組名40	障害のある人への情報発信と防災研修			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	障害者基幹相談支援センター	
目的	障害のある人の自立と社会参加を増加させます。			
取組内容	・事業所マップ、ガイドブックを窓口や事業所で配付し、障害者自立支援連絡協議会のホームページでも公開 ・障害にかかわりのある方への防災研修等の実施			
令和7年度 目 標	防災研修等の実施	実 績 値	目 標 値	
		実施	実施	
取組結果	・事業所間交換実習説明会:8事業所参加(7月2日) ・虐待防止研修:15人参加(9月26日) ・防災研修:22人参加(1月15日) ・事業所マップ、ガイドブックの窓口や事業所での配付			

取組名41	授産製品の販売促進			継 続
担当所属	福祉課	関係部所(署)	障害者基幹相談支援センター	
目的	障害のある人の自立と社会参加を増加させます。			
取組内容	・販売カタログ、販売事業所マップを窓口や関係機関に配付 ・大規模商業施設等において、授産製品の販売を実施 ・障がい福祉フェスタにおいて授産製品の販売事業所を紹介			
令和7年度 目 標	行事・イベント等での授産製品 販売回数	実 績 値	目 標 値	
		4回	5 回以上	
取組結果	・行事・イベント等での授産製品販売回数 4回実施 4月6日 高見学区福祉さくらまつり 9月29日 イオンタウン千種 11月8日 障がい福祉フェスタでの授産製品販売 2月10日 イオンタウン千種 ・授産製品の庁舎内販売は3事業所・各事業所月1～2 回実施			

取組名42	発達障がい家族のつどい		区独自 継 続	
担当所属	保健予防課	関係部所(署)		
目的	成人期の発達障害について、多様な悩みをもつ家族同士が集い、安心して話せる場を提供し、家族の不安や負担軽減を図ります。			
取組内容	中学校卒業以降に発達障がいの診断を受けた方の家族を対象とした教室を開催します。 成人期の発達障害について、そのご家族を対象に、発達障害家族のつどいを開催し、ご家族同士の交流、発達障がいやそれに伴って生じる「生きづらさ」についての対応や接し方、福祉制度などの情報提供を行います。			
令和7年度 目 標	不安や負担が軽減したと答えた人の割合	実 績 値	目 標 値	
		100%	100%	
取組結果	・開催回数:12 回 ・参加者数:120 人 (10 月:8人、11 月:11 人、12 月:8人、1月:12 人、2月:13 人、3月:12 人) ・評価方法:無記名アンケートにより8月(7人)、2月(13 人)が回答 ・家族教室に参加したことで、不安や負担が軽減したと回答した参加者の割合:100% ・参加者の声「自分の話をすると思わぬ気づきや発見があり助けられる」「何か困ったときにふと来ることができることがありがたい」等。			

魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち

施策8 まちの魅力発信を積極的に進めます

施策9 多様な世代等が参加できる文化芸術・スポーツ事業を進めます

	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和7年度	目標値 (令和10年度)
区将来ビジョン	区内に魅力的な歴史的資産等があると思う区民の割合	84.9%	81.1%	87%
	魅力発信事業の参加者数(累計)	1,973人	4,812人	6,000人
	この1年間に文化芸術に触れる機会があった区民の割合	53.8%	52.8%	59%
	文化芸術事業の参加者数	2,553人	2,400人	2,700人
	スポーツ事業の参加者数	2,623人	2,684人	2,900人



【事業シート】

取組名43	千種区情報リーフレット「みちくさマップ」を活用した魅力発信		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	区内の名所・旧跡や魅力スポットを紹介した情報リーフレットを活用し、区内の歴史的資産等の認知度を高め地域に対する誇りと愛着を高めます。		
取組内容	・区内の名所・旧跡や魅力スポットを紹介した「みちくさマップ」を区ウェブサイトで発信するほか区内公所等にて配布するとともに、一般と子どもを対象にしたまちあるきイベントをそれぞれ開催 ・「(子ども版)みちくさマップ」を作成し小学校に配布 ・Instagramで「千種区みちくさフォトコン」を実施する等SNSを活用した情報発信を実施		
令和7年度 目 標	まちあるきイベントの参加者数	実 績 値	目 標 値
		320人	260人
取組結果	まちあるきイベント「みちくさウォーク」の参加者数 271人、プロギングの参加者数 49人 ○Instagram閲覧数・投稿数(3月末時点):152,073件・144件 ○千種区フォトコンテスト「好きです、千種区。」を実施 応募件数:全340枚(34人)うち Instagram:270枚(20人)、応募フォーム:70枚(14人) 2コースについて5枚ずつ優秀作品を選出 広報なごやでフォトコンテストの入賞作品を発表 ○情報リーフレット「みちくさマップ」を区内公所等にて配布 ○子ども版「みちくさマップ」制作、印刷、配布(2,500部)		

取組名44	千種区民まつり		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	幅広い世代がつどい交流を深める場として、千種区の魅力を活かした特色ある区民まつりを実施することにより、愛着心を高め誰もがまちの魅力を語るまちを目指します。		
取組内容	地域や各種団体等の代表者により構成される千種区民まつり実行委員会が主体となって、多くの区民が楽しんで満足できるようなまつりを実施します。開催にあたっては、ステージイベント内容などを充実させ、参加者満足度の向上を目指します。		
令和7年度 目 標	参加者満足度	実 績 値	目 標 値
		99.1%	100%
取組結果	開催日:10月5日(日) 天気:少雨 会場:平和公園メタセコイア広場 時間:午前9時30分～午後3時00分 来場者数:39,000 人		

取組名45	まちかど発掘事業		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	区内にある地域の魅力が発掘できるまちあるきイベントを実施することによって、歴史的資産等に対する認知度を高め、地域に対する誇りと愛着を高めます。		
取組内容	・小学生を対象に、城山・覚王山地区の名所をめぐるイベント「お月見どろぼう」を城山・覚王山地区の施設と連携して実施し、参加者満足度を高める ・城山・覚王山地区の紅葉スポットや名所をめぐるイベント、名所でのアート展示を実施し、その様子の周知を図り、参加者以外にも地域に対する誇りと愛着を高める		
令和7年度 目 標	定員に対する申し込み率	実 績 値	目 標 値
		100%	100%
取組結果	・10月13日(月・祝)「お月見どろぼう」 定員:15 名 申込:18 名(申込率120%) 参加人数:子ども 16 名(付添大人 10 名) ※当日欠席2名 【アンケート結果】 参加者満足度:84.6%(子ども) 100%(大人) ・11月1日(土)「城山・覚王山でお茶と音楽と月を楽しむ」 定員:100名(40名(まちあるき)、60名(相応寺のつどい)) 申込:105名(申込率105%)(まちあるき34名、相応寺のつどい71名) 参加人数:105人(34人(まちあるき)、71名(相応寺のつどい)) 【アンケート結果】 参加者満足度:72% (2イベント合計) 申込者数:123名(18名+105名)／定員:115名(15名+100名) =107%(定員に対する申し込み率) 「揚輝荘について詳しく知ることができた」「まちあるきが楽しかった」「説明がわかりやすかった」という声もあり、おおむね好評だった。		

取組名46	アジサイいっぱい運動		区独自 継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	区の花「アジサイ」をPRし、区の魅力になるようにします。		
取組内容	・希望学区に苗を配付し、地域と協力してPRを実施 ・アジサイ写真を募集し写真展を開催 ・庁舎周辺での掲示やSNS等の広報媒体を活用したPRを実施		
令和7年度 目 標	区の花「アジサイ」認知度	実 績 値	目 標 値
		45.8%	51%
取組結果	・植栽(区内コミセン・どんぐりひろば等18カ所、合計300株) ・6月の「千種区アジサイ月間」PR(庁舎内における表示設置) ・6月から駐車場、駐輪場に区の花アジサイのPRポスターの掲示 ・広報なごや6月号でアジサイのPR(6月) ・写真募集(76点、応募者:26人) ・茶屋ヶ坂公園のアジサイの剪定(7月) ・写真展示(9/16~22:星ヶ丘ギャラリー、11/4~28:東山公園駅展示コーナー) ・庁舎内の壁にアジサイに関するポスターを掲示 ・Instagramにアジサイ写真の投稿(82枚) ・茶屋ヶ坂公園の寒肥、ボランティア募集(1月)		

取組名47	千種区マスコットキャラクター「こあらっち」による区の魅力発信		区独自 拡 充
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	千種区マスコットキャラクター「こあらっち」を積極的に活用し、区内の歴史的資産等の魅力を広め地域に対する愛着を高めます。		
取組内容	・着ぐるみの貸出やイラスト使用について積極的な広報を実施 ・区のイベントやキャンペーンにおいて、着ぐるみやイラスト、ゆるキャラトレカを活用するほか、こあらっちが出演する動画を製作、配信 ・区役所が庁外で実施するイベントで活用できるこあらっちガチャを新たに導入 ・区役所で着ぐるみを展示するほか、PRグッズを製作し、イベント参加者へ配付		
令和7年度 目 標	「こあらっち」認知度	実 績 値	目 標 値
		48.3%	50%
取組結果	・着ぐるみの貸出、着ぐるみ常設展示(交通安全キャンペーン等30件、自殺予防強化月間等展示4件) ・イラスト提供、広報なごやへのこあらっちイラストの掲載 ・区役所窓口及び郵送でのトレカ配布(821枚配布) ・区内新一年生へのこあらっち反射材の配布 ・「こあらっち」グッズによるPR(バンダナ、ボールペン、反射材) ・こあらっちガチャの貸出・運用(12回)※自所属除く ・令和7年度区民アンケート結果:こあらっち認知度…48.3%(昨年度比3.3%増)		

取組名48	区公式ウェブサイト等の広報ツールを活用した魅力発信		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	区公式ウェブサイトをはじめとした様々な広報ツールを活用し、千種区の魅力を発信することにより、多くの人が区の魅力を知る機会を作ります。		
取組内容	区公式ウェブサイト、広報なごや、YouTube等の各種広報ツールを活用して、区の魅力やイベント、区政に関する最新のお知らせなどの情報を幅広く提供します。		
令和7年度 目 標	区公式ウェブサイトアクセス数	実 績 値	目 標 値
		586,669件	776,000 件
取組結果	・区ウェブサイトにおいて、区政に関するお知らせや各種イベント情報等を随時発信。 ・広報なごやについて、スペースの都合上掲載できない内容については、二次元コードを掲載し、ウェブサイトへ誘導。 ・各種 SNS の運用 【区公式ウェブサイト】 ・記事更新件数:220件(前年度累計件数:247件) 前年度累計比88.7%(9月末時点)※システム変更に伴い集計不可 ・総ページアクセス件数:586,669件(3月末時点) (前年度累計比:89.6%(654,218 件))→R6 年度末数値との比較 【LINEによる広報】(2月末時点) ・74件のお知らせを配信 【Xによる広報】(2月末時点) ・134件のお知らせを配信。 【ちくさボランティアカメラマン】(2 月末時点) ・インスタグラムへの写真掲載 107件 【各 SNS 登録数】(2 月末時点) ・YouTube 登録者数 130 人 ・LINE 登録者数 5,216 人 ・Facebook フォロワー数 679人 ・インスタグラム フォロワー数 1,269人 ・X フォロワー数 341 人		

取組名49	文化芸術活動の振興		継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	多様な世代が気軽に文化芸術にふれられる機会を創出することで、文化芸術活動が活発な魅力あるまちを目指します。		
取組内容	文化芸術に親しみ、気軽にふれられるよう、季節の移ろいや自然の美しさを感じることができる「いけばな展」や、幅広い世代から個性あふれる作品が集まる「俳句・川柳コンクール」、自由な発想や豊かな感性により制作された作品が展示される「区民総合美術展・こども美術展」などを開催します。		
令和7年度 目 標	文化芸術事業の参加者数	実 績 値	目 標 値
		2,400 人	2,610 人
取組結果	・令和7年度の予定事業はすべて開催 ・事業ごとの参加者数 別紙のとおり ・3回目の開催である「こども美術展」の出品数は引き続き増加傾向にあり、若い世代が文化芸術に触れる機会として定着してきている ・区民総合美術展や俳句・川柳コンクールの実績値は前年度より減少したため、参加者増のための取り組みが必要		

取組名50	生涯スポーツの振興		拡 充
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	
目的	誰もが生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツによる交流の輪を広げることで、地域の活性化を図ります。		
取組内容	・千種区・名東区家族ジョギング・ウォーキング大会をはじめ、区民が参加できる各種スポーツ大会等を開催 ・プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の指導による実践的な練習が体験できると好評を博した「こどもバスケットボール教室」を継続開催 ・地域等でのスポーツに取り組む環境作りを促進するため、ボッチャ、グラウンド・ゴルフ用具に加え、新たにモルック用具の貸し出しを開始		
令和7年度 目 標	スポーツ事業の参加者数	実 績 値	目 標 値
		2,684 人	2,735 人
取組結果	・千種区役所として21のスポーツ事業を開催 参加者数は別紙のとおり ・区民まつりにおいてモルック体験会を新たに開催		

快適な都市環境とを感じるまち

施策10 きれいで気持ちよく暮らせる環境をつくります

施策11 身近な自然にふれる機会をつくります

区将来ビジョン	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和7年度	目標値 (令和10年度)
	きれいで気持ちよく暮らせるまちだと感じる区民の割合	92.4%	92.2%	95%
	ペットの飼主マナーの向上に向けた事業参加者のうち効果があると思うと回答した人の割合	80.0%	85.5%	90%
	「緑のまちづくり活動」に携わった人数(年間延べ人数)	12,960人	11,763人	13,300人



【事業シート】

取組名51	クリーンキャンペーン			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	環境事業所	
目的	「環境デーなごや」の主要事業として行われる「クリーンキャンペーン・なごや」にあわせて、地域の幅広い世代の参加者とともに、区内の道路や公園の清掃活動、町を美しくするための啓発活動を実施することで、美しいまちを自らの手で作り上げるという機運を高めます。			
取組内容	・区内の公園や小学校を中心に、区民やボランティア団体・学校・関係行政機関等の参加のもと、クリーンウォーキングや啓発活動を実施 ・町を美しくする運動にご協力いただける区内の企業・団体を募集し、千種区クリーンキャンペーンへの参加を呼びかけ			
令和7年度 目 標	実施学区数	実 績 値	目 標 値	
		15 学区	15 学区	
取組結果	令和7年6月7日を中心に実施(大和学区は 9 月 27日に実施) 15 学区 1,794人参加 区内の小学校、公園を中心に区民やボランティア団体・関係行政機関参加のもと、クリーンウォーキングや啓発活動を実施した。			

取組名52	資源とごみの分別等の周知		継 続
担当所属	環境事業所	関係部所(署)	
目的	資源とごみの分別を進め、正しく排出していただくことにより、ごみの量を低減し、きれいで気持ちよく暮らせる環境の実現を目指します。		
取組内容	資源・ごみの分別の仕方や排出方法等を広報なごや、イベント、窓口等で周知します。特に、転入者や市政の情報が伝わりにくい学生・外国人等には分別アプリ「さんあ〜る」やパンフレット等を活用し、効果的な広報・啓発を進めます。		
令和7年度 目 標	資源・ごみの分別の仕方や排出方法等の周知のための取り組み件数	実 績 値	目 標 値
		27件	29件
取組結果	大学生等に対する啓発 11件 施設見学 8件 出前講座 3件 イベント出展 2件 その他取り組み 3件		

取組名53	ペットの飼主マナーの向上に関する啓発活動の実施			区独自 継 続
担当所属	保健管理課	関係部所(署)		
目的	ペットの飼主等のマナー向上を図り、だれもが快適と感じるまちを目指します			
取組内容	・地域との協働で「ペットの飼主マナーパトロール」を実施 ・「千種わんだフルサポーター(犬の散歩マナー宣言を行い実践する飼主)」の募集 ・地域ののら猫の避妊去勢手術の実施を補助券の交付により推進 ※すべて通年			
令和7年度 目 標	・飼主マナーパトロール参加者で効果を感じた人の割合 ・初めて犬を飼育する人で千種わんだフルサポーター宣言をした人の割合	実 績 値	目 標 値	
		85.5% 46.7%	82% 50%	
取組結果	・千種わんだフルサポーターとなることの宣言(43名) ・のら猫の避妊去勢手術券の交付(161 件) ・飼主マナーパトロール実施回数 5 回(実施して効果があったとの回答85.5%) 高見学区(10 月 10 日)、大和学区(10 月 17 日)、上野学区(10月 24 日)、千代田橋学区(11 月 20 日)、宮根学区(12 月2日)			

取組名54	空家の適切な管理の促進				継 続			
担当所属	地域力推進課		関係部所(署)		スポーツ市民局地域振興課、環境業務課、土木事務所、環境事業所、消防署			
目的	管理が不適切な空家に関する情報収集を進め、市や区内関係公所との連携を密にして、区内空家の適切な管理を促進します。							
取組内容	・情報提供のあった空家について、現地調査を行い、実態を把握 ・不適切な管理状態の空家の所有者等に対して、適切な管理を依頼するとともに、未対応の場合には指導 ・関係公所の職員と空家等対策会議を開催し、対応の困難な空家についての情報共有や対応方針の検討							
令和7年度 目 標	管理不適切な空家等に対する対応済率		実 績 値		目 標 値			
			65.5%		75%			
取組結果	○相談・対応実績							
		相談件数	要対応件数	解消済	一部解消済	解消予定	未解消	対応済率
	R7	123	58	34	1	3	20	65.5%
	〈参考〉 R6	118	55	22	5	13	15	72.7%
	※対応済率＝解消済み＋解消予定＋一部解消済/要対応件数 ×100 令和7年度管理不全空家等リスト 98 件(111件) ○千種区空家等対策会議(6 月11日開催) 出席公所：地域力推進課、千種消防署、千種土木事務所、千種環境事業所、千種保健センター、スポーツ市民局地域振興課 ○千種区空家等対策PT会議(6 月11日開催) 出席公所：地域力推進課、千種消防署、千種保健センター、千種環境事業所、千種土木事務所、スポーツ市民局地域振興課							

取組名55	空地をきれいにする運動						継 続	
担当所属	地域力推進課			関係部所(署)				
目的	学区の協力のもと、6月から10月まで「空地をきれいにする運動」をすすめ、管理の不適切な空地の所有者に対して、草刈や樹木の剪定等、適切な管理を呼びかけます。							
取組内容	・情報提供のあった空地について、現地調査を行い、実態を把握 ・不適切な管理状態の空地の所有者等に対して、適切な管理を依頼するとともに、未対応の場合には勧告を実施							
令和7年度 目 標	管理不適切な空地に対する対応済率			実 績 値		目 標 値		
				85.1%		90%		
取組結果	○相談・対応実績							
		相談件数	要対応箇所	清掃済	一部清掃済	清掃予定	未清掃	対応済率
	R7	70件	47箇所	37箇所	3箇所	0箇所	7箇所	85.1%
	※対応済率＝清掃済＋清掃予定＋一部清掃済/要対応箇所 ×100							
	○6月 各学区による調査							
	○7月 民有地を調査							
○8月 文書、電話等にて清掃依頼								
○9月 未対応のものについて、第1回勧告文送付 8件(7箇所)								
○10月 勧告文送付したもので未対応のものについて、第2回勧告文送付1件(1箇所)								
未対応のものについて、第1回勧告文送付 1件(1箇所)								
○相談を受け付けたものについて随時対応								
○対応予定箇所及び未対応箇所について、対応状況を実地調査により確認								
○未対応箇所について、必要に応じて写真等を同封のうえ対応を再依頼。それでも対応しない所有者に対しては、勧告文を送付。								
○総括担当者によるきめ細やかな進捗確認・フォローの実施								

取組名56	住居の不良堆積物への対策			継 続
担当所属	地域力推進課	関係部所(署)	環境局作業課・民生子ども課・福祉課・環境業務課・土木事務所・環境事業所・消防署	
目的	住居(共同住宅を含む)に物品が堆積または放置されることによって、周辺の生活環境に悪影響を与えている状態を解消し、区民の安全で快適な生活環境を確保します。			
取組内容	・住居の堆積物にかかる相談を受けた場合は、関係部所(署)と連携して初期対応を行うとともに、堆積者への支援を実施			
令和7年度 目 標	解消済案件の再発件数	実 績 値	目 標 値	
		0 件	0 件	
取組結果	○相談実績 ・7件の相談があったが、3件は不良な状態のおそれなし、1件は支援継続中、3件は支援により改善されている。			
	区分		R7件数	【参考】R6件数
	不良な状態に該当		0	0
	不良な状態のおそれあり		4	3
	うち	支援によって改善	3	2
		支援継続中	1	0
	不良な状態のおそれなし		3	4
	合計		7	7
	再発件数		0	
	・住居の不良堆積物対策会議を11月18日に実施し、各関係部署における役割と、「不良な状態」と認定された物件が出た場合の対応等について確認を行った。			

取組名57	地域貢献メニューへの参加促進		継 続
担当所属	土木事務所	関係部所(署)	
目的	公園・街路樹の各愛護会による緑のまちづくり活動などの地域貢献や、歩道橋ネーミングライツ・街路灯パートナー・スポンサー花壇・なごやかベンチ・まごころ遊具などの社会貢献のメニューを呼びかけ、参加していただける方々を増やしていきます。		
取組内容	広報なごやへの掲載やPRチラシの配架などを行って愛護会活動を周知する他、窓口に来所した環境美化や花壇管理に関心のある区民に愛護会制度を丁寧に説明するなど、緑のまちづくり活動への参加を積極的に呼びかけていきます。 また、街路灯パートナー等についても、ウェブサイト等で紹介を行い、参加を呼びかけていきます。		
令和7年度 目 標	緑のまちづくり活動に携わった人数	実 績 値	目 標 値
		11,763 人	13,106 人
取組結果	・「都市緑化功労者」として表彰を受けた個人1名と愛護会1団体をウェブサイト等で紹介しました。 ・窓口に来所した環境美化や花壇管理に関心のある区民に愛護会制度を丁寧に説明するなど、緑のまちづくり活動への参加を積極的に呼びかけました。		

信頼される区役所づくり

施策12 区民ニーズの把握

施策13 区民サービスの向上

区 将 来 ビ ジ ョ ン	成果指標	基準値 (令和5年度)	令和7年度	目標値 (令和10年度)
	区役所が区民ニーズを把握していると思う区民の割合	72.9%	76.1%	83%
区 将 来 ビ ジ ョ ン	区役所の窓口サービスに満足している区民の割合	97.0%	92.0%	100%



【事業シート】

取組名58	千種区区民会議			継 続
担当所属	企画経理課	関係部所(署)		
目的	区政に対する区民の意見を聴取し、区民ニーズを把握します。			
取組内容	区政運営方針や今後の千種区のめざす将来像について広く区民の意見を募り、今後の区政運営に活かしていきます。			
令和7年度 目 標	区民会議の開催	実 績 値	目 標 値	
		実施	実施	
取組結果	区民会議の開催結果 ・日時:令和 7 年 7 月5日(土) ・会場:今池ガスビル7階 ダイアモンドルーム ・参加者数:構成員等 26 人、事務局 18 人			

取組名59	区民アンケート		継 続
担当所属	企画経理課	関係部所(署)	
目的	区政運営方針の事業効果を測定し、課題抽出を行います。		
取組内容	調査対象:区内居住の18歳以上2,000人(無作為抽出) 調査時期:6月下旬~7月下旬 調査項目:区政運営方針の取組結果について 区政運営方針策定に向けたニーズ調査 等 調査結果:区ウェブサイトへ掲載		
令和7年度 目 標	アンケート回収率	実 績 値	目 標 値
		36.5%	40%
取組結果	・調査期間:令和7年6月23日(月)から7月31日(木)まで ・対象者:区在住の18歳以上の男女2,000人(外国人含む。無作為抽出) ・回答数:729人(回収率36.5%) ・アンケート結果及びいただいた意見を各課関係公所(署)と共有 ・アンケート結果を区ウェブサイトへ掲載		

取組名60	千種区わかもの会議		区独自 継 続
担当所属	企画経理課	関係部所(署)	
目的	高校・大学の学校数と学生数が市内で最も多いという千種区の特徴を活かし、サマープログラムを通して「わかもの」の意見を聴取し、区政運営に活かす。		
取組内容	サマープログラムの実施 テーマ:区の特徴に応じたまちづくり事業の立案 日 程:2日間(日付未定。2日目に施策提案のプレゼン実施) 対 象:区政に関心のある高校生・大学生・大学院生 (参加者募集については、広報なごや区版等で広報予定。) 会議で受けた提案は、今後の事業に活かしていけるよう、区役所内で共有する。		
令和7年度 目 標	わかもの会議の開催	実 績 値	目 標 値
		実施	実施
取組結果	わかもの会議の開催結果 ・日時:令和7年8月27日、28日 ・参加者:4グループ18人 ・テーマ:①わかものへの防災啓発・地域防災への参加 ②区内名所の魅力発信!! ③わかものを対象とした食育の啓発 ④消防団員の確保		

取組名61	地域担当制による地域との連携				継 続			
担当所属	総務課			関係部所(署)		各課		
目的	地域とのコミュニケーションを深めることにより、地域ニーズの把握に努め、地域課題解決に向け地域と行政の連携の強化を図ります。							
取組内容	・各学区を担当する地域担当職員を決め、担当学区の防災訓練、集中街頭大監視を始めとした各種行事の参加の機会をとらえて、地域ニーズの把握 ・地域担当職員を窓口として、地域の課題解決に向けた関係課室、公所等との橋渡しを実施 ・あじさいプランをはじめとした区政に関する情報を学区連絡協議会等で広報							
令和7年度 目 標	地域担当職員が年 6 回以上学区連絡協議会、学区行事等に参加する学区数			実 績 値		目 標 値		
				15 学区		15 学区		
取組結果	○ 区役所・保健センターの課長級職員を地域担当職員として割振り、地域で開催される事業等に参加(のべ129回)し、地域とのコミュニケーションを図った。また、寄せられた要望・課題等を関係課・機関等に伝え、地域と行政の橋渡しを行った。							
	〔事項別〕							
	事項		学区数	事項		学区数		
	クリーンキャンペーン		15	学区敬老行事		11		
	交通大監視	春	10	成人の日記念行事		15		
		夏	9	学区夏祭り・盆踊り		13		
		秋	9	学区運動会		5		
		冬	10	学区コミセンまつり		6		
	学区防災訓練		11	その他		3		
	あじさいプラン2025の説明		12	合計		128		
	〔学区別〕							
	学区	千種	千石	内山	大和	上野	高見	春岡
回数	8	10	12	6	10	6	6	6
学区	東山	見付	星ヶ丘	自由ヶ丘	富士見台	宮根	千代田橋	合計
回数	11	7	8	9	8	9	10	129

取組名62	わかもの向けの選挙啓発			区独自 継 続
担当所属	千種区選挙管理委員会	関係部所(署)		
目的	将来を担う「わかもの」の選挙に対する関心を高めます。			
取組内容	・中学・高校の生徒及び大学生を中心とした「わかもの」向けの選挙啓発事業の実施 ・「わかもの」向けの選挙啓発動画の配信 ・千種区独自の「千種区わかもの選挙サポーター」の募集を引き続き行い、サポーターと協働できる事業を実施			
令和7年度 目 標	① わかもの向けの選挙啓発事業等の実施回数	実 績 値	目 標 値	
	② 区のホームページに選挙啓発動画を配信する本数	① 20回 ② —	① 20回以上 ② 2本以上	
取組結果	①わかもの向けの選挙啓発事業等 20回 ○選挙出前トーク（3回） ・5/21 椋山女学園大学、12/2 名古屋聾学校、2/24 椋山中学校 ○わかもの選挙サポーター等との話し合い、募集チラシ配布（11回） ・話し合い 10回、募集チラシの配布 1回 ○選挙資材の貸出（4回） ・4/22、10/31 名古屋商業高等学校(生徒会選挙) ・9/30、3/17 名古屋聾学校(生徒会選挙) ○明るい選挙千種区推進のつどい（延期） ○文化祭等の場を活用した選挙啓発（1回） ・10/5 千種区民まつり(模擬投票) ○その他（1回） ・10/25～11/19 明るい選挙ポスター・書道千種区作品展 ① 選挙啓発動画の配信 なし			

取組名63	窓口環境の整備			拡 充																									
担当所属	総務課		関係部所(署)	各課																									
目的	初めて訪れた来庁者、外国人でも迅速かつ効率的に来庁目的が達成できるようにします。 おもてなしの心で来庁者をお迎えするようにします。																												
取組内容	・フロアサービススタッフ、コンシェルジュの配置やおくやみコーナーを設置 ・外国語通訳スタッフや翻訳機、タブレットを活用した外国語による案内 ・ロビーでのいけばな展示実施、庁舎敷地でのあじさい園を整備 ・婚姻届を提出した方に、新たに千種区の名所をデザインした結婚お祝いカードを贈呈 ・区役所女子トイレへどなたでも無料でお取りいただける生理用品を配置 ・DX推進に対応した来庁者の方にとって利用しやすい窓口環境を整備 ・来庁者の方にとって利用しやすく、バリアフリーに配慮した新庁舎の窓口環境の整備																												
令和7年度 目 標	区役所の窓口サービスに満足している区 民の割合	実 績 値		目 標 値																									
		92.0%		100%																									
取組結果	○転出入時期の庁舎内混雑緩和のため、待合場所を増設、また、フロアサービスを増員し、来 庁者の案内誘導を行った。また、マイナンバーカード・インターネット利用による来庁分散化 の呼びかけなども実施した。																												
	○市民課の混雑状況配信システムを改修し、待ち人数から待ち時間へ表示を変更、併せて LINE呼び出し通知機能を追加した。																												
	○第1駐車場混雑緩和のため、第1駐車場が満車の場合、第1駐車場へ入庫しようとする運転 手に満車のアナウンスを行い、第2駐車場利用を呼び掛けた。 また、区役所入り口付近に、第2駐車場への案内看板および右折入庫遠慮の案内看板を追 加設置し、車からも案内が確認できるようにした。																												
	○年度末(R8.3.23～R8.3.31)には、委託業者の警備員を1名増員して、平和公園口交差 点での第二駐車場への案内や第一駐車場の入庫待ちの車の混雑対応にあたった。																												
	○転倒の危険があった第1駐車場の段差(車止め)の視認性を高めるために黄色の塗装を施 す改修を行った。																												
	○各種実績																												
	<table><tr><td colspan="2">フロアサービス(庁舎総合案内)</td><td colspan="3">保険年金課フロアサービス</td></tr><tr><td>庁舎案内件数</td><td>54,217</td><td>窓口案内件数</td><td colspan="2">44,667</td></tr><tr><td>記載指導補助件数</td><td>31,677</td><td>記載補助件数</td><td colspan="2">24,892</td></tr><tr><td>資料案内・提供件数</td><td>1,988</td><td>保険証等回収件数</td><td colspan="2">309</td></tr></table>					フロアサービス(庁舎総合案内)		保険年金課フロアサービス			庁舎案内件数	54,217	窓口案内件数	44,667		記載指導補助件数	31,677	記載補助件数	24,892		資料案内・提供件数	1,988	保険証等回収件数	309					
	フロアサービス(庁舎総合案内)		保険年金課フロアサービス																										
	庁舎案内件数	54,217	窓口案内件数	44,667																									
	記載指導補助件数	31,677	記載補助件数	24,892																									
資料案内・提供件数	1,988	保険証等回収件数	309																										
<table><tr><td colspan="2">福祉コンシェルジュ</td><td colspan="3">おくやみコーナー</td></tr><tr><td>相談・窓口案内件数</td><td>16,460</td><td>申請書一括作成者対応件数</td><td colspan="2">695</td></tr><tr><td>記載補助件数</td><td>761</td><td>おくやみ案内のみ対応件数</td><td colspan="2">205</td></tr><tr><td>資料案内・提供件数</td><td>1,521</td><td>おくやみ以外対応件数</td><td colspan="2">416</td></tr><tr><td></td><td></td><td>受電件数</td><td colspan="2">574</td></tr></table>					福祉コンシェルジュ		おくやみコーナー			相談・窓口案内件数	16,460	申請書一括作成者対応件数	695		記載補助件数	761	おくやみ案内のみ対応件数	205		資料案内・提供件数	1,521	おくやみ以外対応件数	416				受電件数	574	
福祉コンシェルジュ		おくやみコーナー																											
相談・窓口案内件数	16,460	申請書一括作成者対応件数	695																										
記載補助件数	761	おくやみ案内のみ対応件数	205																										
資料案内・提供件数	1,521	おくやみ以外対応件数	416																										
		受電件数	574																										
<table><tr><td colspan="2">タブレット端末(外国語対応)</td><td colspan="2">生け花</td><td colspan="2">結婚お祝いカード</td></tr><tr><td>利用件数</td><td>9</td><td>設置瓶数</td><td>97</td><td>配布件数</td><td>807</td></tr></table>					タブレット端末(外国語対応)		生け花		結婚お祝いカード		利用件数	9	設置瓶数	97	配布件数	807													
タブレット端末(外国語対応)		生け花		結婚お祝いカード																									
利用件数	9	設置瓶数	97	配布件数	807																								

取組名64	接遇の向上		継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	各課
目的	・区役所職員一人ひとりの説明力等の資質向上や業務に関する十分な知識習得を図り、来庁者が正確かつ効率的に来庁目的を達成できるようにします。 ・さわやかなあいさつ、丁寧な対応を心がけ、来庁者の満足度向上を目指します。		
取組内容	・各職場が「接遇・CS向上宣言」を掲げ、窓口の区民満足度を向上させる取り組みを実施 ・ご意見箱の設置、千種区独自の窓口アンケートの実施等により、来庁者のご意見を把握し、課題・改善点を区役所内で共有 ・外部講師を招いて、接遇に関する問題点を把握、課題改善に向けた取り組みを行う研修を実施し、職場内で共有することにより、区役所職員全体の接遇能力向上を目指す		
令和7年度 目 標	・区役所の窓口サービスに満足している区民の割合 ・各所属におけるクレーム発生件数	実 績 値	目 標 値
		92.0% 33%増加(16 件)	100% 前年比 75%減少
取組結果	○各所属において、「接遇・CS向上宣言」を策定し、宣言達成に向けた取り組みを実施。(4月～) ○1 階ロビーにご意見箱を設置し、接遇等への要望を把握、必要に応じて各所属へ要望内容を周知、改善を依頼した。(ご意見箱、市民の声に寄せられた接遇に関するクレーム発生件数 … R7:1.3 件/月(参考 R6:1.0 件/月)) ○外部講師による接遇研修の実施 ・やさしい日本語研修 10月29日実施 14名参加 ・障害者理解に関する講習会 10月29日実施 15名参加 ・認知症サポーター養成講座 11月12日実施 17名参加 ・接遇研修 11 月 18・21 日実施 13 名参加 ○窓口アンケートの実施(11月12日～12月3日実施) 来庁者661名から回答をいただき、窓口サービスに満足している区民の割合は92.0%であった。		

取組名65	業務改善			継 続
担当所属	総務課	関係部所(署)	各課	
目的	区民目線に立った業務改善を検討・実施することにより、利用しやすい区役所づくりを行うとともに、業務の効率化を図ります。			
取組内容	・職員一人ひとりが身の回りの小さなことから業務改善を実施するとともに、職場内で改善事例を共有し、継続的に業務改善を行う機運を高める ・DX推進に対応した窓口環境の整備など区民目線に立った利用しやすい区役所づくりに努める			
令和7年度 目 標	業務改善の取り組み件数	実 績 値	目 標 値	
		10 件	10 件	
取組結果	○ご意見箱の意見等を参考に業務の見直しを随時実施 ・転出入時期の庁舎内・駐車場混雑緩和のため、待合場所を増設したり、来庁者の誘導を行ったりした。また、第1駐車場が満車の場合、第1駐車場へ入庫しようとする運転手に満車のアナウンス及び第2駐車場への誘導などを実施したほか、駐車場の出入口付近に、混雑時の第2駐車場利用及び左折入場誘導の案内看板を設置した。さらに、マイナンバーカード・インターネット利用による来庁分散化の呼びかけなども実施した。 ・シャトルバスの待合場所を窓口の混雑状況、気候などを見ながら適宜変更した。また、ウェブサイトのシャトルバス案内において、運行の間隔や乗車定員を明示し、満席時に配慮が必要な方に席をお譲りいただくこと、事故を防ぐために乗降時の注意事項などの記載を追加した。期日前投票期間中においては、シャトルバスの運行日時の注意点を追加掲示して注意喚起を行った。 ・庁舎前駐車場から正面玄関までの間に段差が多く、転倒の危険があるという声があったため、段差の視認性を高めるために黄色の塗装を施す改修を行った。 ○他所属業務体験研修(区独自研修)の実施(8月5日～8月28日)参加者:8名 ○各職場において実施した業務改善運動(区独自)の取組み事例を取りまとめ、合計10件の内容及び成果について区役所内に共有することで横展開を行った。			